

様式第3号(第9条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和6(2024)年度第2回みよし市学校給食センター運営委員会		
開催日時	令和7(2025)年1月31日(金) 午後2時から午後2時45分まで		
開催場所	みよし市立学校給食センター 2階会議室		
出席者	【委員】 下田久美子委員長 黒田和秀 深谷良子 天野智加子 酒井香織 八木香織 西堀加奈子 山根三津子 村上茉優 寺西花菜子 岩本恵 中越真一 【事務局】 増岡教育長、林学校給食センター所長 近藤栄養教諭、金山栄養教諭、杉浦主任主査		
次回開催予定日	令和7(2025)年7月		
問合せ先	教育部学校教育課学校給食センター(杉浦) 電話 0561-32-0100(直通) メール kyushoku@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	
審議経過	別紙のとおり		

令和 6 (2024) 年度第 2 回みよし市学校給食センター運営委員会 会議録

日 時 令和 7 (2025) 年 1 月 3 1 日 (金) 午後 2 時から午後 2 時 4 5 分まで

場 所 みよし市立学校給食センター 2 階会議室

【事務局 (杉浦)】

本日は、ご多忙の中ご出席いただきありがとうございます。ただいまより令和 6 年度第 2 回みよし市学校給食センター運営委員会を開催いたします。

初めに礼の交換をいたします。皆様ご起立ください。

一同礼。ご着席ください。

本日、北部小学校給食主任仁科様、三好丘中学校給食主任片山様、学校医大澤様、衣浦東部保健所代表川島様、保育園父母の会代表川野様よりご欠席のご連絡を、深谷様、近藤様より少し遅れるとの連絡をいただいております。なお、片山様の代理として三好丘中学校近藤様に出席いただいております。

従いまして、代理の方を除き、本日の委員会にご出席いただいた委員の人数は、現在 11 名です。これは、みよし市立学校給食センター管理規則第 9 条第 2 項に規定する定足数の過半数を超えておりますので、本委員会は、成立しましたことをご報告いたします。

なお、本日の会議は公開の会議ではありますが、傍聴の申し出はありませんでした。

はじめに、教育委員会を代表しまして、みよし市教育長 増岡潤一郎がご挨拶を申し上げます。

【増岡教育長】

みなさまこんにちは。立春を間近に控えておりますが、先週の時点でインフルエンザの数も 2 週連続で減少しているとの報道もありました。市内だと年末に 4 クラス、年明けに 1 クラスの学級閉鎖がありました。地元のこども達は冬休み中にインフルエンザになっていたようです。

学校医の大澤先生に聞いたら A 型が落ち着き、これから B 型が流行るだろうとのこと。来週がまた冷え込むようなので、心配しているところですが、現場の先生達のほうがいろいろなことを心配しながらやっているのではないのでしょうか。

日頃は給食をはじめ様々なことにご配慮いただきありがとうございます。

卒業生の登校日があと小学校 31 日、中学校は 23 日となってきました。

自分が担任をもっていた頃にもありましたが、この時期のこども達がカウントダウンカレンダーに、仲間や先生に感謝の言葉を書いていくのが通例となっており、毎年給食センターの給食を作っている人達にお礼を書きたいという子もよくいまし

た。こども達がそのような感謝をして今年一年が終えられるように、よろしくお願いします。

ちょうどこちらに来る前にラジオで国会の審議の話を聞ききましたが、国のほうでも給食無償化の話をしているようです。みよし市ではいち早く踏み切って給食無償化をやっております。これについては、国や県が早く責任をもってやってもらいたいということを示し、後押しするためみよし市では踏み切ることになりました。その決定を下す際、保護者が自分のこどもの給食の材料費くらいを支払うのは親として必要じゃないかという意見も出て、どうするべきかという議論がありました。給食無償化はひとつの象徴的なことではありますが、勘違いしないようにしなければいけないのは、あくまで物価高騰の折に、子育てにお金がかかるので家庭支援を目的にした一つの支援であり、学校に責任を全て負わせるという意味合いではありません。学校がこどもの教育すべての責任を負うという意味の無償化ではなく、あくまで親と学校が共同でこどもを育てるのが教育だということは忘れないようにしなければなりません。

なお、物価はどんどん上がっており、給食費は来年度も上げていく予定にしております。次の校長会でもお伝えしますが、実費を払っていただいている教職員の先生方の給食費も上がってしまいますこと、ご承知おきください。

先日給食レシピコンテストの表彰もありましたが、地産地消の野菜を使ったメニューを取り入れてもらったりしておりますので、こどもたちが楽しんで食べてもらえるよう指導してください。このレシピコンテストでグランプリを受賞したラタトゥイユ井や小学生が作ってくれたサラダにも使用されていたみよし市産の切干大根は、余りにも身近すぎた食材ですので正直好きではありませんでしたが、コンテストで試食をしたときにこんなに美味しかったのかとびっくりしました。今度の2月21日にラタトゥイユ井が出ますがどんな味になって出てくるか、こどもたちにも楽しみに待っているように伝えてください。

この会議は今年度2回目ですが、献立の協議も含めて皆様の声をどんどん届けてもらいたいです。よろしくお願いします。

【事務局（杉浦）】

ありがとうございました。

なお、教育長は公務のため、ここで退席とさせていただきます。

（教育長退室）

それでは、ここからは、管理規則第8条第3項の規定により、下田委員長に進行をお願いいたします。

【下田委員長】

それでは、次第に沿って進めて参ります。

「議事 1 令和 7 年度学校給食献立について」事務局から説明をお願いします。

【事務局（杉浦）】

学校給食センターの杉浦と申します。本日はよろしくお願いいたします。

「令和 7 年度 給食献立年間計画」について、資料 1 をご覧ください。令和 7 年度も季節などに合わせて実施する予定となっておりますが、こちらに関してはこの運営委員会の後に、同じメンバーで開催する、給食献立作成検討会議で詳しいお話をさせていただきます。

【下田委員長】

ただいま、「令和 7 年度学校給食献立について」の説明がありました。

詳しくはこの後の会議でとのことですが、質問等がありますでしょうか。

よろしいでしょうか。無いようですので、続いて、「議事 2 令和 6 年度学校給食業務実施状況について」事務局から説明をお願いします。

【事務局（杉浦）】

「令和 6 年度学校給食業務実施状況について」説明させていただきます。資料 2 をご覧ください。前回の会議で、今年度の事業計画についてお伝えしておりますが、その進捗状況をご報告いたします。

まずは学校給食運営事業、(1) 調理場内の衛生管理です。学校給食の調理業務は、文部科学省の学校給食衛生管理基準に基づき進めることとなっています。①から③は、愛知県学校給食会による食器や食材の検査です。今後予定しているものもありますが、細菌数の検査や調理場の使用方法、器具の取扱いが適正かどうかの点検を行います。④は、愛知県薬剤師会による水道水・給湯水の検査を年 3 回行います。⑤は、学校薬剤師に年 3 回調理場を見ていただき、衛生管理の状況が適正かどうかご指導をいただきます。

実施済みの検査の結果はいずれも良好で、適正な衛生管理を行い給食の調理ができていることの確認をとっています。

(2) 職員の衛生管理です。毎月の腸内細菌検査と、ノロウイルスの流行期におきましては、月 1 回ノロウイルスの簡易検査を職員全員に行っており、適正な体調で調理または事務にあたっていることの確認をとっています。

次に、給食センターの維持管理、施設、設備関係の事業です。

(1) 工事では、金額の大きなものとして、夏休み中に①調理場内手洗い設備更新工事を行いました。調理場にある手洗い器に温水設備を導入し、30 台のうち 22 台を更新しました。残り 8 台の更新は 7 年度に実施できるよう予算計上しております。

(2) 備品購入では、蒸気回転釜の更新を行いました。11 台のうち特に古い 2 台を更新

し、そのうち1台は展示用として2階に設置いたしました。設置後はセンターへ見学に来た保育園児や小学生、PTAの方に体験してもらっています。

その他の事業として、イベント給食を行いました。

9月2日には防災の日の給食として、各学校で保管していた給食用非常食の「救給カレー」というレトルトカレーを提供しました。昨年度実施した際に量が少ないとの意見があったため、デザートゼリーから中学校はマフィンに変更しました。この日の喫食数に応じて、次年度用に購入したものを納品し、引き続き各学校にて保管していただいております。

12月16日にはオイスカ給食を行いました。41の国と地域で農村開発や人材育成活動を展開する国際NGO組織であるオイスカの公益財団法人オイスカ中部日本研修センターの外国人実習生が育てた作物である大根、ニンジン、里芋とカブを使用した献立オイスカうどんを提供しました。天候や気温の上昇によって予定量が収穫できるか不安な点もありましたが、無事納品され、提供することができました。

三吉小学校ではオイスカの研修生が訪問し一緒に給食を食べるなどの交流会を行ったりしました。

また、学校訪問事業は、給食センターの調理員と栄養士が、全国学校給食週間の期間に中部小学校・天王小学校・緑丘小学校・三好丘中学校の4校にお邪魔させていただきました。こどもたちにとっては、普段見ることのできない給食調理の現場を知ることができ、感謝の気持ちや残さず食べることの意欲につながったのではないかと思います。調理員にとっても、普段はこどもたちの食べている姿を見ることはできないので、貴重な機会をいただき、今後の調理の励みになったかと思います。受け入れていただいた学校の皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

次に、給食調理等委託事業です。みよし市給食協会に給食の調理全般の業務を委託して行っています。食数は予定ですので、実際に食べた食数で3月に精算し、変更契約を行う予定です。

実績見込みの表1の3行目「給食中止等」の詳細が表2です。通常給食は前月の10日頃までに人数を報告いただき、発注等準備を行っておりますが、台風で急遽給食が中止になった場合、インフルエンザなど、学級閉鎖で給食が中止になった場合、出来る限り食材のキャンセルを手配します。前日の午前10時までに学校からセンターへ連絡が入ればキャンセルできるものも多いですが、キャンセルがきかない食材については、廃棄処分となり市が材料費を負担することとしています。今年度に関しましては、台風による給食中止はありませんでした。学級閉鎖は、連絡を迅速に行っていたおかげでキャンセルが間に合った食材もあり、費用発生は最小限に抑えられました。救給カレーの予備分についても市が負担しました。

給食協会運営補助事業は、給食協会の運営に必要な人件費、事務費等は、補助金と

して市から協会へ補助しています。こちらは、年度末に精算を行います。

ここまでの、今年度の事業の実施状況になります。

次のページをご覧ください。6番、令和7年度の予定のうち、例年と異なるものについて抜粋しました。

まず(1)①ガス空調機器等更新工事です。給食センターのガス空調は建設当初より使用しており、故障箇所が増えておりました。耐用年数を過ぎ、修繕の部品も供給されなくなってきたことから、更新が必要となっております。使用範囲は事務室をはじめ調理場内の一部ですが、小中学校の夏休み中に工事を行う予定となっております。

②調理場前室手洗い器取替修繕では、今年度取替修繕を行わなかった残り8台の更新を行います。

③放送設備機器は、緊急時に必要な設備になりますので、耐用年数が過ぎている機器を更新します。

また、(2)蒸気回転釜を4台更新します。調理で使用する大きな釜は11台設置されております。高額なため、今年度2台更新しました。来年度は4台を更新し、順次更新していく予定です。

(3)給食用非常食は毎年9月1日の防災の日に合わせての提供をしておりましたが、非常時用とはいえ量が少ないことや、夏休み明け初日の給食として物足りないことなどの理由と、いつ起こるか分からない災害について備える日は防災の日に限られたことではないことから別の日での実施を検討しました。令和7年度は全校一斉で短時間授業の日は予定されていなかったため、現時点では前期終業式を行う10月10日での実施を予定しております。

なお、資料に記載はありませんが、牛乳の納入業者よりゴミの分別用に配布されていましてごみ袋について、令和7年度より配布を中止する旨の連絡をいただいております。給食センターとしましては、来年度は代わりのごみ袋を給食数に応じて各学校に配布する予定としておりますが、詳細は決まり次第ご連絡いたします。

令和6年度の学校給食業務実施状況については以上になります。

【下田委員長】

ただいま、「令和6年度学校給食業務実施状況について」の説明がありました。

質疑のある方は、挙手の上ご発言をお願いいたします。

【黒田委員】

三つあります。

一つ目は、運営事業の中の食材給食検査について、3回の内、1月と2月という日にちが近いのですが、なにか理由がありますか。

二つ目は、回転釜の展示について、既にあるものを展示するのにかけた費用につ

いて教えてください。

三つめは、前回の会議でも質問させてもらいましたが、非常食のカレーを給食センターのイベント給食として載せるのはおかしい。食べる側としては、中学生なら3年に1回でも良い、小学生なら6年に2回で良いが、ローリングストックのために食べなければならないのは食育の面でも給食センターの行う事業として行うのはどうかと思う。

【中越委員】

救給カレーが年に1回なのは、賞味期限があるからなのか、いざという時のために非常食の食べ方を知るために行うのか、背景が分からないので教えてください。

【事務局（金山）】

食材検査は夏の暑い時期とノロウイルス流行期の冬に行っています。献立によって検査できる食材が変わるので、冬は検査の内容と種類に応じて2回実施となり、計3回となりました。

【事務局（杉浦）】

回転釜の展示にかかった費用ですが、調理場内で使われていた大きな釜を2階まで上げる人力と転倒防止のための設置費用と踏み台製作のための費用です。

非常食の救給カレーの期限は、3年があります。毎年防災の日に合わせて行うこととして始まりました。給食が異物混入やノロウイルスの感染が発生した場合など、調理ができなくなることも考えて、いつ起こるかわからないものの対策として学校に保管してもらうことになっております。

【事務局（林）】

イベント給食として救給カレーを出させていただく背景は、災害はいつ起こるかわからないということから子どもたちに防災意識を高めてもらいたいという思いもあります。いざ災害が起こった時に食べるものがない、暖かくもないけれど飢えをしのげるものがあるという状況もひとつの体験としてもらいたいと思います。

【黒田委員】

それでも毎年行う必要があるのか。ほんとに量が少なくて、その後一日過ごすのが大変で、防災意識と言うのは分かるけれど子どもたちがかわいそうだと感じてしまいます。3年に1回だと意識が低いのでしょうか。

【事務局（林）】

あまり期間が長いと忘れてしまうので年に1回がいいと思います。

【黒田委員】

避難訓練などの動きをみていると意識は高いと思うので、食べることで意識が高まるという狙いとしてはズレがあるのではないかと現場としては思います。

【中越委員】

そういった狙いも現場で子どもたちに伝えていったりしていかないと、子どもとしては「ただ足りない」という感想になってしまうと思いますが、どれくらい浸透しているのでしょうか。

【事務局（林）】

献立表の中でも記載していますし、各校で実施していただいていると認識しています。

【寺西委員】

今年は自分のクラスで「また今年もか」という雰囲気はありましたが、ほんとに災害にあったときにはこれが食べるものなんだよ、と話したら「そっか」と言っていました。去年は私がうまく伝えられなかったですが、今年はしぶしぶでも納得して食べてくれたので、目的があればいいのかなと思います。指導が行き届くように指導要領などで万遍なく指導出来たら1年でも3年でもいいので、もっと伝わるのではないかな。防災としては避難訓練などもしているので意識は高いと思いますが、実際にこのカレーを食べるという意識は乖離しているように今年は感じたので、食べる意義はあるのかなと思いました。

【事務局（杉浦）】

給食センターとしても、食べ慣れてもらうという意味でも年に1回くらいはこういった食事をしてもらうことにも意義があると思っております。災害時に急に普段と違う食事を食べて印象が良くないという話も聞きますので、量が少ないというのは否定できませんが、来年度は日付を変えて、添加物も検討して実施していくつもりです。

【下田委員長】

今、中学校側から意見が出ましたが、小学校はどうですか。

【山根委員】

正直9月初日にどうしてコレかという意見はあり、半日で帰れる日ならまだしも、各学校によって帰れる日が違うので難しいとは思いますが、そういう日にできないかと学校側から言われてきました。体験としては大事だということも分かりますが、正直な感想だと思います。

【事務局（杉浦）】

今年ですと教育振興大会が10月にありこの日は全校が半日で帰る日でした。来年度も4月にはあるのですが、実施日としては早すぎるので、10月頃に同じようにあればその日と思ったのですが、来年度は予定していないとの話を聞きまして全校半日で帰る日がありませんでした。10月10日は前期修了日で全校が半日で帰るとは思わなかったけれどほかに良い日がありませんでした。

【黒田委員】

案として家に持ち帰って食べるということではできませんか。

【事務局（杉浦）】

購入を給食費で行っているため、持ち帰るための購入費用の捻出先がありません。

【事務局（林）】

給食の代わりということで実施しておりますので、家庭へ配ることは趣旨が変わってしまいます。

【黒田委員】

イベント給食としては、オイスカや昔のコロンバス給食などなら、こどもたちも楽しく食べれると思います。

【事務局（林）】

オイスカ給食などは栄養教諭の先生方も苦労して献立を考えてくれており、ここにはイベント給食としては載せていないですが、毎月献立の中にコロンバスや土別市をはじめいろんな地域の料理などを入れていただくなど、実施しております。

【下田委員長】

前回の話し合いを受けて、日にちは変えていただけたことはありがたいことです。マフィンでボリュームを持たせてもらうなど変えてもらえることもあるので、また来年度こどもたちの様子を見てご意見をいただければと思います。

その他はよろしいでしょうか。

では続いて、「議事3 給食費について」事務局から説明をお願いします。

【事務局（林）】

学校の先生方が食べていただいている給食費ですが、昨今の物価高騰で、野菜の値が上がり、来年度も主食であるごはんやパンが値上がりする予定となっております。小学校300円・中学校340円でなんとか調理しておりますが、正直苦しいです。来年度は小学校で20円の値上げで320円、中学校で25円の値上げで365円で食材の調達を考えておりますので、教職員の方の給食費を同額に上げさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【下田委員長】

ただいま、「給食費について」の説明がありました。質問等のある方は、挙手の上ご発言をお願いいたします。

キャベツ1玉も値上がり、苦心して調理をしていただいていると思いますが、みよしの給食は野菜の量も種類も豊富ですごいと毎日思っています。

【事務局（林）】

質を下げずに実施したいと考えております。

【黒田委員】

値上げについてはこれからも段階的に上がっていくのですか。3年くらいかけてちょっとずつ上げていく計画なのか、この値上げでしばらく上げないということなのか。

【事務局（林）】

この値上げでしばらくいけたらいいなとは思っております。物価の高騰がどこで止まるのか次第です。今後も物価が上がるようでしたら、食材料費も上げざるを得ない状況です。

【黒田委員】

中学校25円の値上げで足りているのか。25円で対応可能でしょうか。どんどん人件費も上がっているのに、足りるのかどうか心配です。必要ならもうちょっと上げてもいいかなとも思います。

【事務局（林）】

ありがとうございます。上げれるものならもっと上げたいですが、試算したところ

来年度はこのくらいで調達できる見込みです。物価など社会の動向など様子をみながら必要があれば今後も上げていこうと思っておりますので、その時はよろしくお願いいたします。

【下田委員長】

ほかにはよろしいでしょうか。

では質問がないようですので、本日提出されました3件の案件については全て審議を終了しました。皆様には議事進行にご協力いただきありがとうございました。これで委員長の職を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

【事務局（杉浦）】

下田校長先生、ありがとうございました。委員の皆様には、ご審議をいただきありがとうございました。

本日、委員である衣浦東部保健所食品安全課長の川島様からご講話をいただく予定でありましたが、急遽公務のため欠席となりましたので、割愛させていただきます。

今年度の学校給食センター運営委員会につきましては、今回で終了となります。委員の皆様におかれましては、1年間ご協力をいただきありがとうございました。

令和7年度の第1回運営委員会につきましては、7月頃を予定していますが、来年度委員となられる皆様へ改めて通知をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上をもちまして、「令和6年度第2回みよし市学校給食センター運営委員会」を終了させていただきます。

皆様ご起立ください。

（全員起立） 一同 礼

ありがとうございました。

（午後2時45分終了）